

# なぎがま 中

なぎがま  
コミュニティスクール  
下諏訪中学校だより  
令和4年(2022)  
10月28日(金) No.6



9月29日14時20分、全校がそのときを待っています。そして力強い開祭宣言。なぎがま祭のスタートです。展示見



学で全校、皆の頑張りをお互いに称え、翌日のステージ発表です。吹奏楽の気迫ある演奏、各学年の趣向を凝らした学習



発表に歓声が沸き、思わず割れんばかりの拍手も起こり、楽しいひとときが続きます。そして、校友会企画「天空の城な



ぎがま」。各委員会が考えた企画を、他の委員会が運営するという内容。そのゲームを通してステージバックの完成です。

九月二十九日(木)・三十日(金)は、本校最大行事の一つ、「第七十六回なぎがま祭」でした。「コロナ禍で迎える三年目の文化祭。制約のある中ではあります。が、展示発表やステージ発表で、自分を輝かせようと精一杯の姿を見せてくれました。今年も地域の皆様への公開はできませんでしたが、少しずつ、学校の活動はもとに戻りつつあります。そう遠くないいつか、生徒たちの活躍する姿をご覧いただけるものと信じています。



全校で記念撮影。思い出の「既読」となりました。

**第76回なぎがま祭**  
テーマ「**葉 ～ 既読の過去 未読の未来 ～**」  
**成功のうちに閉幕す!**

第七十六回なぎが  
まつ祭および第二回  
授業参観日へのご  
来校ありがとうございます  
ございました

九月三十日(金)な  
ぎがまつ祭、そして  
十月十四日(金)に  
は、第二回目の授  
業参観日に、多く  
の保護者の皆様  
に、「ご来校をいた  
だき感謝申し上げ  
ます。久しぶりに  
お子さんの学校で  
の様子や、学校の  
雰囲気を感じてい  
ただくことができ  
たのではないでし  
ょうか。コロナ禍  
で、保護者の皆様  
に関わっていただ  
くことがかなわな  
かった時を経て、  
ようやくここまで  
再開できるように  
なった、と感慨深  
いものを感じま  
す。第八波も懸念  
される中ですが、  
皆様と共有できる  
時間を大切にした  
いものです。今後  
ともよろしくお願  
いいたします。

## 11月2日(休)音楽会へのお誘い

10月4日付の通知でお知らせした通り、来る11月2日に「音楽会」を下諏訪文化センターにて行います。保護者の皆様には、ぜひお子さんのクラスの歌声を聴いていただきたいのですが、今年度も小ホールにてパブリックビューイングでの鑑賞となります。ただし、3年生の保護者の皆様には、お子さんのクラスと学年合唱に限り、大ホールでの鑑賞ができるよう準備を進めてまいります。当日は係職員の誘導・指示に従っての入場となります。制約の多い中でご不便をおかけしますが、生徒たちのハーモニーをぜひお聞きいただきたいと思ひます。皆様のご来場を心よりお待ち申し上げます。



合唱に磨きをかける3年生。仕上がりを楽しみ

校内は生徒たちの歌声であふれています。すてきな学校の姿です。

## 11月のおもな予定

詳細につきましては配布いたしました11月暦等をご覧ください。

1日(火)	性教育講演会(3学年)	17日(木)	2学期期末・第4回総合テスト
2日(水)	音楽会(文化センター大ホールにて)	18日(金)	
5日(土)	中体連新人戦(バスケ・バレー・サッカー)	19日(土)	中体連新人戦(バレー)
6日(日)	中体連新人戦(バスケ・バレー)	20日(日)	
9日(水)	読み聞かせ	21日(月)	45分短縮授業(下校 14:30)
10日(木)	税の作文表彰	22日(火)	
15日(火)	飲酒防止講演会(2学年)	24日(木)	令和5年度校友会選挙
16日(水)	ロケットプロジェクト(1学年)	26日(土)	GSM 学びの発表会・自衛隊吹奏楽指導
		28日(月)	歯科検診

下中なぎがまつ文化遺産

### No.6 校歌

下諏訪中学校の校歌は作曲井上武士先生、作詞五味智英先生の作。六十六年間、大切に歌い継がれてきました。校長室にはお二人の直筆による原本が掲げられています。井上先生は「チューリップ」海を作曲された著名な先生。また五

味先生は下諏訪出身、東京大学の名譽教授で万葉集研究の第一人者であられました。お二人の本校に寄せた思いは、在校生の歌声となって下中の文化遺産として脈々と受け継がれているのです。卒業された皆さんの中にも、懐かしく校歌を口ずさみ、当時に思いをはせる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

### 編集後記

下中最大行事の一つ「なぎがまつ」が終了して約ひと月が過ぎようとしています。大きな行事の後、校内がひっそりとするものですが、

朝な夕なに各クラスの歌声が響き、いまだ熱気冷めやらぬといった感があります。生徒がハーモニーをつくる「音楽会」今年も楽しみます。